

第 89 号
2025. 1. 1

発行 者
公益財団法人 香川県身体障害者
団体連合会

会 長 岡村 隆次

高松市番町一丁目10-35
香川県社会福祉総合センター内

TEL 087-862-3540
FAX 087-837-6521

印刷所 (株)弘栄社

この発行事業は
共同募金の
助成を受けて
実施しています



公益財団法人

香川県身体障害者団体連合会

会 長 岡村 隆次

新年明けましておめでとうござ
います。

会員の皆様方におかれましては、
令和七年の新春を穏やかに迎え
のことと拝察し心よりお慶び申し
上げます。

昨年、元旦に発生した能登半
島地震を始め、八月には初めて南
海トラフ臨時情報が発表されたほ
か、豪雨災害も頻発するなど、災

害について他人事ではなく色々
考えさせられました。

一方で、面白い話題として、大
谷翔平選手の目覚ましい活躍があ
り、私もTV観戦しながら大いに
盛り上がり、元気をもらいました。

さて、昨年十一月八日には、五年
ぶりの現地開催となった第四十八回
中・四国身体障害者福祉大会（かが
わ大会）を、中・四国各県から七百
有余名の仲間と福祉関係者をお迎え
し、丸亀市綾歌総合文化会館アイ
レックスにおいて盛会裏に開催する
ことができました。

これもひとえに各団体の役員・
会員の皆様方が昨夏の猛暑の中、
各事業者の方々には大会開催への協
力依頼を続けられた賜物であると、
深く感謝する次第であります。

また、大会を陰で支えて下さっ
た関係団体の皆様方には、そのご
尽力により大会が成功裏に終えら
れたことにつきまして、厚く御礼
申し上げます。

やはり、多くの仲間と相互の連
携を強めるためには、直接顔を合

わせ、言葉を交わすことが重要で
あると改めて認識いたしました。

ところで、同大会の大会スロー
ガンである『災害時の障がい者支
援体制を早急に確立させよう』と
『障害者差別解消法により一層の理
解促進を図り「共生社会」を実現
しよう』は、ここ数年変わること
なく継続されていますが、それだ
け私たちにとつて重要な課題であ
ると同時に、まだ達成されていな
い問題でもあります。

特に、共生社会の実現に向けて、
法整備が進められ、障害者に対す
る支援策や障害者差別解消のため
の取組が行われていますが、その
実現はまだ道半ばであり、実現す
るために活動を続けていかなけれ
ばなりません。

また、今年、令和六年度から
三年間を計画期間とする「第七期
かがわ障害者プラン」の二年目に
当たります。同プランは、全ての
県民が障害のあるなしによつて分
け隔てられることなく、互いに人
格と個性を尊重しながら、笑顔で

安心していきいきと暮らしていけ
る社会の実現に向け、各種の施策
を総合的・計画的に推進するとし
ていきます。

こうした行政の取組に対して私
たち一人ひとりがしっかりと意識
をもって、当連合会における活動
を通して、共生社会の実現を目指
し努力していく必要があると考え
ておりますので、皆様方のご支援、
ご協力をよろしくお願い申し上げ
ます。

最後になりましたが、寒い日が
続きますので、お体には十分ご留
意いただきたいと思ひます。

厳しい時代ではありますが、令
和七年が、皆様にとりまして希望
の持てる年になりますよう祈念申
し上げ、新年のご挨拶とさせてい
ただきます。

謹んで
新年のお慶びを
申し上げます

令和七年 元旦

公益財団法人
香川県身体障害者団体連合会

会 長 岡村 隆次
副会長 別府 健二
副会長 高橋 厚彦
副会長 石川 良美

第四十八回中・四国 身体障害者福祉大会 (かがわ大会)開催



昨年十一月八日(金)、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、中国、四国各県から七百有余人の身体障害者及び関係者が一堂に会し、第四十八回中・四国身体障害者福祉大会が開催されました。

この大会は、中・四国各県で持ち回り開催しており、本県では九年ぶり六回目の開催となりますが、ここ数年はコロナ禍の影響で中止や書面

開催が続き、五年ぶりの現地開催になりました。

大会は、高橋厚彦香川県身体障害者団体連合会副会長の開会のことばに始まり、君が代斉唱、身体障害者福祉関係物故者への黙とう後、本連合会会長の岡村隆次大会長から、五年ぶりに対面で開催できたことの喜びと来賓の方々への御礼、大会長表彰受賞者への祝意を述べたあと「昭和二十五年に施行された身体障害者福祉法に始まり、多くの諸先輩方のご努力により、昭和四十五年には障害者基本法、以後多くの法整備が行われてきました。今年四月からは、改正障害者差別解消法が施行され、民間事業者による「合理的配慮の提供」が義務化されました。これにより、障害を理由とする差別的解消と障害者の社会参加が一層推進されるものと期待しています。国・地方公共団体においては、改正法の趣旨を国民に十分周知してほしいと考えています。全ての国民が障害のあるなしによつて分け隔てられることなく、互いに人格と個性を尊重しながら、笑顔で安心して生き生きと暮らせる共



生社会の実現に向かって頑張ろうではありませんか。本大会がさらなる障害者福祉の向上に寄与することを期待いたします。」と主催者あいさつがありました。



続いて、池田豊人香川県知事から歓迎のことばのあと「香川県では、第7期かがわ障害者プランを策定し、共生社会の実現に向け、各種の施策を総合的・計画的に推進しています。中国・四国各県の身体障害者や福祉関係者が一堂に会し、身体障害者の抱える諸課題について情報交換が行われ、交流を深めることは、誠に意義深いことです。本大会が障害のある方々の自立と社会参加の促進につながりますことを心から願っています。」と挨拶をいただきました。

また、続いて開催地丸亀市を代表して松永恭二丸亀市長から、かがわ大会が盛大に開催されることの祝福



のことばと参加団体の障害者の社会参加や福祉の向上への多大なる尽力と活動に対して敬意と感謝のことばを述べられたあと「丸亀市においては、今年三月に丸亀市第七期障がい者福祉計画及び第三期障がい児福祉計画を策定し、障がい福祉サービスや障がい児通所支援等の提供体制の確保に努めている。今後も障害者施策の基本的な方針を定めている丸亀市第三次障がい者基本計画により各種施策に取り組み所存であります。」と挨拶がありました。



続いて、大会長表彰が行われ、自己の障害を克服し、多年にわたつて身体障害者福祉の向上と発展のため献身的に貢献された各県の二十六名の方が表彰されました。受賞者を代表して香川県三木町の藤本 逞氏が賞状と記念品の授与を受け、謝辞を述べられました。

香川県受賞者(敬称略)

- 頼富 弘、 田中保久、
- 村岡清邦、 藤本 逞、
- 金滝隆三、 糸川恭一



続いて、来賓を代表して山根裕日

者団体連合会副会長と、松原哲也香川県議会議長からお祝いのことばをいただくとともに、祝電が披露されました。そのほか来賓としてご出席いただいたのは、大山茂樹さぬき市長、香川県町村会副会長の小林眞一直島町長、丸亀市社会福祉協議会の横田



拓也会長、田中昌和三豊市健康福祉部長、香川県社会福祉協議会の土岐敦史常務理事、県選出の衆議院議員、参議院議員の秘書の方々です。

休憩を挟んで、第二部の議事に移行し、議長団が選出され、議長に選出された岡村会長の挨拶と議長団の紹介の後、石川良夫香川県身体障害者団体連合会副会長から提出議案の説明が行われ、岡村議長から提案の経緯の説明を行った後、採択が行われ、満場一致で承認されました。



提出議案

〔内閣府〕

一 障害者差別解消の推進について、民間事業者における合理的配慮の取組が円滑に進み、障がい者が地域で安心して暮らすことができるよう、各省庁等が改正した対応要領や対応指針に基づき、国と地方公共団体が一体となって、相談体制の更なる充実と事業者等への周知・指導の強化に努めるよう要望する。

また、内閣府がワンストップ窓口として時限的・試行的に実施している「つなぐ窓口」の恒久化を要望する。

二 障がい者の個別避難計画について、行政、福祉関係団体、支援者となる地域の関係者等が連携し、障がい特性に応じた適切な計画がすべての市町村において早急に作成され、災害時に障がい者が誰一人取り残されることなく避難できる支援体制の構築を国と地方公共団体が一体となって取り組むよう要望する。

また、個別避難計画について、避難行動要支援者名簿と同様に義務化を検討するとともに、避難支援等関係者に地域の障がい者団体及び身体障害者相談員を含めるなど、名簿情報の共有化を進めるよう要望する。

三 障がい者が地域社会において、安全・安心な生活を送ることができるよう、防災・減災対策を推進するとともに、福祉避難所の確保・設置・強靱化、迅速・確実な情報取得のための体制整備など、国と地方公共団体が一体となって、災害時の具体的で実効性のある障がい者支援体制の整備を早急に講じよう要望する。

四 「障害者情報アクセシビリティ」

「コミュニケーション施策推進法」の施行に関し、障がい者が日常生活に必要な情報が健常者と同じように得られるよう、国と地方公共団体が一体となり、具体的な環境整備に取り組み、情報分野のバリアフリーを一層進めるよう要望する。

〔厚生労働省〕

一 共生社会の実現に向けた周知・啓発の重要性が一段と高まってきている中、障がい者理解の輪を全国的に広げていくため、全都道府県が「あいサポート運動」に継続的に取り組めるよう、厚生労働省所管の「地域生活支援事業」の国庫補助率を見直すなど、地方公共団体の財政負担の軽減措置を講じよう要望する。

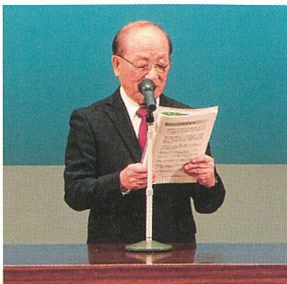
〔国土交通省〕

一 人口減少と高齢化に伴い、地域での移動手段の確保が切実な課題となっている。住み慣れた地域で安心して生活していく上で不可欠

な移動手段を維持していくための環境整備を図るよう要望する。

二 バリアフリー法が施行されていぶん経つが、公共機関の建物に段差があるなど課題がある。単独車いすの方が安心して移動できるような社会・まちづくりを要望する。

続いて、長尾舜哉香川県身体障害者団体連合会理事から大会宣言(案)が提案され、満場一致で承認されました。



大会宣言

新型コロナウイルスの影響により、令和元年のえひめ大会を最後に現地開催が見合わせられてきた中、5年ぶりに中・四国各地域から多くの身体障がい者及び関係者が、ここ香川県丸亀市において一堂に会し「第48回中・四国身体障害者福祉大会(かがわ大会)」が開催されることは、誠に意義深いことである。

今年一月一日に発生し甚大な被害をもたらした能登半島地震をはじめ、近年、毎年のように日本各地で大規模災害が発生し、中・四国でも平成

三十年七月の豪雨災害で多くの仲間が甚大な被害を受けている。災害時に障がい者が誰一人取り残されることなく避難でき、避難生活において大きな困難を強いられることにならないよう、個別避難計画の作成、福祉避難所の確保・設置、迅速・確実な情報取得のための体制整備など、国と地方公共団体が一体となつて、災害時の具体的で実効性のある障がい者支援体制の整備を早急に講じるよう要望する。

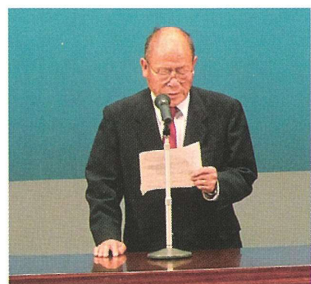
また、改正障害者差別解消法の施行により、民間事業者に義務付けられた合理的配慮の取組が円滑に進み、障がい者が地域で安心して暮らすことができるよう、国と地方公共団体が一体となつて、事業者等への周知・指導の強化と相談体制の更なる充実を求める。

私たち中・四国ブロックの障がい者団体は、この大会を契機に、改めて相互の連携をより一層強め、障害の有無に関わらず、すべての人々がお互いに尊重し、支えあいながら、ともに安心して暮らせる共生社会の実現を目指し、一致団結して行動することをここに宣言する。

続いて、坂東松盛香川県身体障害者団体連合会理事から大会決議(案)の提案があり、満場一致で承

認されました。

以上で議事は終了し、次期開催地の宮崎俊雄高知県身体障害者連合会長の挨拶に続いて、前回の開催地(書面開催)である林徳太郎徳島県身体障害者連合理事長の音頭により万歳三唱を行いました。



最後に、別府健二香川県身体障害者団体連合会副会長から閉会のことばがあり、全行事を終了しました。



今大会では、手打ちうどん碧空会の皆さんによるうどんのおお接待を小ホールで行い、会場は舌鼓を打つ多くの参加者で賑わっていました。



今年の第四十九回中・四国身体障害者福祉大会は、令和七年十一月七日に高知県立県民文化ホールで開催される予定です。



第二十五回中・四国ブロック 身体障害者相談員研修会 (高知県)

令和六年九月二七日に標記研修会が高知市ふくし交流プラザにて開催され、本県より十一名(全体では百二十八名)が参加しました。

初めに日本障害フォーラムの田中伸明氏(弁護士)から講演がありました。田中氏は香川県の出身の方ですが、大学卒業の前後から一気に視力が低下していかれたそうです。友人たちは就職や進学をしていくなかで、もともとは工学部の学生であったのですが、今後の将来を相談された全員の弁護士の方の語に感銘を受けて、司法試験を目指すことに決意されました。まず点字を覚えるところからはじめて、長い試験勉強の末にようやく合格されて、現在は愛知県で弁護士として活動されています。障害者差別解消法の改正に至った経緯を国際的な動向から我が国の条約の批准まで詳細な説明をされてさらに法律の内容について事例を交えながら講演されました。

たゆまない努力を続けた姿勢に、参加者に大きな感動を与えてくれた講演でした。
次に梶原町相談員の宮本友和氏からは、全国大会の参加を契機に、パラスポーツの大切さと魅力を知り、パラスポーツサークルを立ち上げて、

パラスポーツを支える側の取り組みを講演されました。相手に寄り添い、とにかく聞く、共感し、共に学び成長することは、身体障害者相談員としての態度と心構えに活かされているとは、とても参考になりました。



身体障害者相談員等 ブロック別研修会開催

香川県身体障害者相談員を対象としたブロック別の研修会を昨年十一月二十一日に高松市内(東B)、十二月十日に丸亀市内(西B)で開催しました。
相談員等合わせて約四十名が出席しました。

研修会では、各ブロックとも、香川県消費生活センター職員から「消費者トラブル防止のための消費生活講座」について詳細な説明がありました。



東ブロック



西ブロック

内容としては、物の売買等による契約は両者の合意で成立して、いっ

たん契約が成立すると簡単には解約できないため、県消費生活センターにも相談が寄せられている現状の説明がありました。
特に、最近多いトラブルとしては、インターネットを通して申し込みを行い商品が届いたら、自分が思っていたものとは異なることから、返品や返金ができずに困っているケースが多いとのことでした。

一定の期間内であれば、無条件で申込の撤回や契約の解除ができるクーリングオフがありますが、通信販売での売買では、クーリングオフは適用されないため、ネット画面の文字が読みづらくとも全て読んで了解しないとけない。断るときには、ハッキリと相手に伝える姿勢が大切であると力説されていました。

今回の研修は、消費者として日常生活に直結したもので、さまざまな相談を受ける相談員にとっては大変参考となる内容でした。

女性部全体地域交流会

昨年十月十日(木)に令和六年度女性部全体地域交流会が開催されました。

初めに女性部の竹本部長に挨拶をしていただきました。

続いて、香川県社会福祉協議会の権利擁護・成年後見センター職員の前田綾乃氏をお招きして、出



今回は、「クリスマスツリーのタペストリー」を作りました。いろいろな飾りをツリーに貼りつけ、一人ひとり違った作品が完成しました。



前講座「日常生活自立支援事業について」というテーマで講演をしていただきました。
講師の方のお話を皆さん熱心にメモを取ったり聞いていらっしやいました。



十月十二日(土)に第十九回東かがわ市障がい者スポーツ大会が白鳥中央公園体育館で開催されました。競技種目として、玉入れ、ペットボトルボーリング、ボール送り、パン釣り競争、フライングディスク、軽体操がありました。
みなさん楽しく競技に参加されました。

東かがわ市障がい者スポーツ大会



(右) 松原議長



(左) 長尾健康福祉部長

香川県の来年度予算編成に合わせて、障害者施策に対する要望を取りまとめ、本年九月二十日の理事会で決定の上、十月十六日に、知事あての要望書を長尾健康福祉部長に、また、十月十八日に、県議会議長あての要望書を松原議長に、それぞれ岡村会長から提出しました。

令和七年度香川県障害福祉予算編成に伴う要望

要望項目

- 一、外郭団体に対する支援について
- 一、各市町身体障害者団体に対する支援について
- 一、障害者等用駐車場について
- 一、障害者雇用について
- 一、個別避難計画の完全作成について
- 一、災害時の障害者支援体制について
- 一、身体障害者スポーツへの助成について
- 一、医療費助成制度の拡充について
- 一、共生社会実現に向けた広報・啓発の徹底について
- 一、自転車の交通違反取締りの強化について

**受賞おめでとう
ございます**

「令和六年度香川県社会福祉大会」において、木連合会の評議員の高橋紀一氏が社会福祉事業の奉仕者として知事表彰を受賞されました。
長年のご尽力に深く敬意を表しますとともに、心よりお慶び申し上げます。

令和7年上期の主な行事予定

(令和7年1月～3月)

実施日	時間	行事名称	場所
1.16(木)	14:30～	中・四国ブロック身体障害者団体連絡協議会	岡 山 市
2.14(金)	13:30～	香川県身体障害者相談員協議会理事会	7F 第二中会議室
3.5(水)	13:30～	女性部幹事会	6F 第一研修室
3.7(金)	13:30～	第4回理事会	7F 第二中会議室
3.10(月)	13:30～	スポーツ基金運営委員会	7F 第一中会議室
3.21(金)	13:30～	第2回評議員会	7F 第一中会議室

(令和7年4月～7月)

実施日	時間	行事名称	場所
5.7(水)	13:30～	女性部幹事会	6F 第一研修室
5.16(金)	13:30～	第1回理事会	7F 第二中会議室
6.12(木)		第70回日本身体障害者福祉大会(かながわ大会)	神奈川県横浜市
6.20(金)	13:30～	定時評議員会	7F 第一中会議室
7.1(火)	13:30～	香川県身体障害者相談員協議会総会・全体研修会	7F 大会議室

※今後、諸事情により、行事の期日及び会場の変更、中止となる場合もあります。

加入資格	身体障害者手帳所持者で、男性60歳以上、女性55歳以上の方
入会方法	新規 入会申込書、身体障害者手帳の写し、年会費1,400円(振込可)
	更新 更新申込書、年会費1,400円(振込可)
特典	片道、往復又は連続で201km以上の乗車の場合に、特急券等を2～3割引で購入する事が出来ます。会員誌の送付はありません。 ≪5月の連休・盆・年末年始の時期を除く。新幹線「のぞみ・みずほ」特急券、トクトクきっぷ等を除く。≫



新緑や紅葉の季節に、ご家族や友達と一緒に列車で出かけてみませんか。本連合会では、皆様の入会をお待ちしています。入会ご希望の方は、ご連絡下さい(087-1862-3540)。

JR特急料金などが割引になるジパング倶楽部(特別会員)のあっせんをしています。

JRジパング倶楽部(特別会員)のあっせんについて

●けんしんれん(郷土出身の人物)クイズ●

問題

郷土出身の人物に関するクイズです。以下の2問にお答えください。

(1) 江戸時代中頃に、静電気発生装置エレキテルを発明、改良した人物は **平賀** ○○

(2) 明治から昭和にかけて活躍した小説家・劇作家で、有名な文学賞の創設に携わった人物は **菊池** ○

応募方法

はがきに①クイズの答え(2問とも名前を漢字で表記)、②住所、③氏名、④年齢、⑤記事の中で興味があったこと等を書いて応募ください。正解者の中から若干名の方にQUOカードをお送りします。

【送り先】

〒760-0017 高松市番町1-10-35
香川県社会福祉総合センター
公益財団法人香川県身体障害者団体連合会

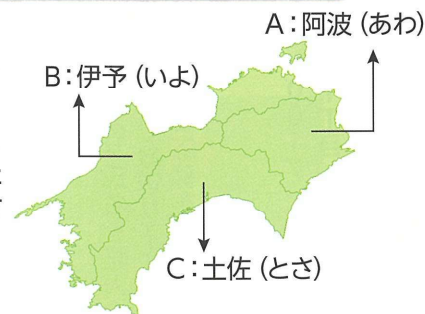
【締切日】

令和7年2月28日(当日消印有効)

前回第86号(令和5年9月1日付け)の答え

問題

昔香川県は讃岐(さぬき)と呼ばれていました。次のAからCの3県は、どのように呼ばれていたか漢字とひらがなの両方をお答えください。



前回のクイズ当選者等

正解者の中から若干名の方にQUOカードをお送りしました。